

かわにし市議会だより

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp>

平成15年(2003年)11月2日
NO.143

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

平成15年度一般会計補正予算(第3回)など審議 「教育基本法」改正について慎重審議を求める意見書提出



平成15年第4回定例市議会は、去る9月1日に招集され、26日に会期を終えました。
この定例市議会では、子どもの人権オンブズパーソン事業に係る事業経費の追加等を含む、一般会計補正予算案など、合計29の案件を審議しました。
また、本会議最終日には、『教育基本法』改正について慎重審議を求める意見書を可決し、直ちに関係大臣等に送付しました。

第4回市議会(定例会)日程	第1日(9月1日)
	○会期の決定 ○平成15年度一般会計補正予算〔1議案〕⇒表決 ○教育委員会委員の選任〔1議案〕⇒表決 ○人権擁護委員候補者の推薦〔1議案〕⇒表決 ○市功労者表彰〔3議案〕⇒表決 ○平成14年度水道事業会計決算認定など〔9議案〕⇒市長提案説明
	＜議案熟読＞
	第2日(9月4日)
	○平成14年度水道事業会計決算認定など〔9議案〕⇒質疑・委員会付託 ○請願〔1件〕⇒委員会付託 ○一般質問
	第3日(9月5日)
	○一般質問
	＜常任委員会審査＞ ＜決算特別委員会審査＞
	第4日(9月19日)
	○平成14年度一般会計予算継続費精算報告⇒報告 ○平成14年度一般・特別会計決算認定〔9議案〕⇒市長提案説明
	第5日(9月26日)
	○平成14年度一般・特別会計決算認定〔9議案〕⇒質疑・付託 ＜決算特別委員会審査＞ ・・・継続審査 ○平成14年度水道事業会計決算認定など〔9議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決 ○意見書案〔1件〕⇒表決 ○請願〔1件〕⇒表決 ○ごみ処理センター周辺調査特別委員会の名称及び調査事項の変更など〔2議案〕⇒表決

“子どもの人権オンブズパーソン事業”で活発な議論 一層の効果求め「付帯決議」

この9月定例会では、「市営葬儀条例を廃止する条例案」を審議しました。
これは、去る3月定例市議会において、市営葬儀の関連経費を減額する修正案を可決したことに伴い、その後、事業の継続性などについて検討が加えられ、このたび、これを廃止する条例が提出されたものです。
市営葬儀は、低所得者に配慮した事業でもあることから、その審議では、市が行ってき

たサービスが、民間事業者で提供できるのかといったことについて、活発な議論が交わされました。
また、この定例会では、「平成15年度一般会計補正予算(第3回)」についても審議されました。
3月定例市議会で減額修正した「子どもの人権オンブズパーソン事業」に係る経費の追加補正を審査した厚生経済常任委員会では、今回、事業を存続させるための追加補正

9月定例会

を提案した考え方や、制度運営面での課題等について、極めて活発な議論が交わされ、委員全員一致で補正を可とした後、六つの改善項目を明記した付帯決議が付されました。
また、中央北地区整備事業を推進するための予算計上に関しては、同事業の今後の事業見通しなどについて質疑が交わされ、修正案が提出されたものの、賛成多数で可決されています。

市議会の新しい体制決まる

10月23日・24日に開催した第5回臨時会で役員改選を行い、下記のとおり、市議会の体制が新しくなりました。

議長	山口 嘉 和	副議長	宮 路 尊 士	監査委員	吉 田 進
議会運営委員会	◎安田末廣 越田謙治郎	○志水隆司 中礼思無哉	松田恭男 横谷弘務	住田由之輔 土田 忠	西山博大
常任委員会	◎土田 忠 横谷弘務	○大谷真智子 安田末廣	松田恭男	梶田忠勝	菅原 巖
	◎角谷悠子 辻 優	○向井陽子 久保義孝	倉谷八千子	○住田由之輔 多久和桂子	北上哲仁 倉谷八千子 宮路尊士
	◎中礼思無哉 安田忠司	○黒田美智 江見輝男	北上哲仁 山口嘉和	◎横谷弘務 中礼思無哉	土谷一郎 西山博大 越田謙治郎
	◎土谷一郎 志水隆司	○岩田秀雄 多久和桂子	村上祐章 黒田靖敏	◎安田忠司 角谷悠子	○村上祐章 辻 優 土谷一郎 安田末廣
				◎菅原 巖 黒田靖敏	○吉富幸夫 岩田秀雄 向井陽子 吉田 進 大谷真智子
農業委員会委員	志水隆司	久保義孝		◎菅原 巖 黒田靖敏	○江見輝男 山口嘉和 松田恭男 黒田美智 土田 忠
				飛行場対策 周辺整備調査	猪名川上流広域ごみ処理 施設組合議会議員
				まちづくり 調 査	
				広 域 ご み 処理施設調査	
				第二名神高速道路 周 辺 対 策	
				特別委員会	

◎は委員長、○は副委員長



猪名川 銀橋下流の狭窄部 今後の対応方針を聞く

議員 猪名川銀橋下流の狭窄部（約300メートル）の開削は、多田地域の洪水被害解消に効果的であると考えられている。

兵庫県の管理区間であるこの狭窄



部の開削について、今後の対応方針を伺いたい。

土木部長 銀橋下流の狭窄部の開削に対する国土交通省の見解は、多田地区では治水効果をもたらすものの、下流地域の治水安全度を著しく引き下げるることとなるため、この解決策が課題であるとされている。

このような中で、市としては、国土交通省や当該区間の管理事業者である県に対し、地域住民の意見を反映した河川改修が早期に実施されるよう要望していきたい。



増加する“アレルギー疾患” 具体的な取り組み状況は

議員 近年、アトピー性皮膚炎や花粉症等のアレルギー疾患で苦しむ人が増加傾向にある。

そこで、アレルギー疾患に関する本市の取り組み状況を伺いたい。

保健福祉部長 市保健センターでは、保健師や管理栄養士が、乳幼児健診や各種健康相談などに際し、アレルギー疾患にも対応しているほか、必

要に応じて専門医療機関の紹介などに努めている。

また、各学校では、主に担任がアレルギー疾患を持つ子供の保護者と綿密な連絡を取りながら、日々の教育活動を行うとともに、泊を伴う学校行事や給食のメニュー等に関しては、学年教師全体で可能な限りの配慮をしている。



「環境影響評価審査会」 委員選任の経緯を問う

議員 猪名川上流広域ごみ処理施設建設予定地の周辺は、「世界に誇るべき日本一の里山」と言われている。

この地域の「広域ごみ処理施設建設関係市町環境影響評価審査」を川西市が受託しているが、この審査会委員の選任の経緯、あるいは、文化財等の専門家などを委員に加える考えについて伺いたい。

生活・人権部長 この審査会は、近隣都市の審査会委員の構成や兵庫県

の環境影響評価担当部署の意見等を参考にして、8名の委員で構成することとした。

委員は、大気、水質、騒音、振動、動物及び植物等を専門とする学識者で、本市以外にも各種の審議会委員等を歴任されており、それぞれの立場から生態系や植生、歴史的な重要性について総合的に精査し、的確な審査をしていただけるものと考えている。



新エネルギーの導入へ 今後の対応方針を示せ

議員 地球温暖化防止京都会議の成果を受けて、兵庫県では、1997年に「ひょうご新エネルギービジョン」を、2002年7月には「グリーンエネルギー推進プログラム」をそれぞれ策定し、具体的な推進メニューを定めている。

新エネルギーの導入については、自然環境などの地域特性や、地域住民の意見を考慮する必要があるが、

本市では、新エネルギー導入をどのように進めていく考えか。

生活・人権部長 本市では、今後、地球温暖化防止と循環型社会の構築に向けて、広く市民の方の意見を聞きながら「環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が協調しながら計画を推進していく中で、新エネルギーの基本的な考え方についても検討を加えていく考えである。



要旨



“行財政システム”導入 基本的な考え方ただす

議員 本市では、行財政改革を推進するため、「行財政システム」が導入されるが、このシステムでは、配分された予算枠の中で、部長の責任において事業の削減などを行っていくことになる。

市民の暮らしに係る事業を際限なく削って行かざるを得なくなるのではないかと懸念するが、市の考えを伺いたい。

企画財政部長 本市では、赤字再建

準用団体への転落が危惧される状況にあることから、今回、行財政運営における意思決定システムを抜本的に見直そうとするものである。

このシステムは、現場の実情に最も即した形で、人、物、金といった経営資源をより効果的・効率的に配分できる手法であると認識しており、今後とも、市民の皆さんの視点に立った成果重視型の行政運営に努めていく考えである。



縦割り行政の弊害解消へ 横断的な組織づくりを

議員 縦割り行政による弊害が指摘される中、改めて横断的に行政を進めていく必要があると考える。

様々な行政分野を横断的にまとめる部署を設けることなどが効果的と考えるが、そうした組織の構築に向けた考え方について伺いたい。

企画財政部長 横断的な行政課題が増加傾向にある中で、市総合計画や行政SR作戦行動計画で掲げる「市民

サービスの向上」において、組織・機構の見直しを図るとともに、機動的な業務執行に努めることとしている。

総合計画や行動計画の実現に際しては、何よりも職員個々の意識の持ち方が問われることから、職員のイマジネーション能力の向上を図りながら、より高い効率性・効果性を実現するため、行財政システム改革を強力に進めていきたい。



『授乳スペース』 市役所1階フロアに

議員 現在、本庁舎1階フロアには授乳スペースがなく、小さな子供連れの親にとっては不便な施設環境である。

窓口での待ち時間の間に母親が授乳したり、子供が絵本を読んだりできる場所が必要と考えるが、現在の1階スペースに設置できないか。

総務部長 市の男女共同参画プランにおいても、「今後の公共施設は、可能な限り授乳室等を設けること」とした趣旨の項目が掲げられており、市としても、その必要性は十分認識しているところである。

今後の対応としては、1階フロアに設置している四つの相談室を活用し、申し出に応じて利用してもらえるよう工夫したい。



「教育基本法」改正について慎重審議を求める意見書＜要旨＞

中央教育審議会が、本年3月に「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画のあり方」について、文部科学省に答申したことを受け、政府は国会に「教育基本法」改正案の提出を目指そうとしている。教育基本法は、教育理念などの基本を明確にしたもので、今回の改正が、昨今のいじめなどに短絡的に結びつけられていることも懸念されるため、慎重に議論すべきである。よって、本市議会は、教育基本法の改正に際し、政府が広く国民などの意見を聞き、議論を尽くした上で結論を出されるよう強く要望する。

本会議・委員会開催状況

7月
25日 ○議会運営委員協議会（まちづくり出前講座についてなど）

8月
22日 ○議員協議会（行財政システムについて）
○まちづくり調査特別委員会（中央北地区整備事業について）

25日 ○議会運営委員会
○厚生経済常任委員協議会（平成15年第2回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会についてなど）

9月
1日 ○第4回市議会定例会（招集日）
○議会運営委員会

4日 ○第4回市議会定例会（第2日）
5日 ○第4回市議会定例会（第3日）
9日 ○総務常任委員会
○一庫ダム周辺整備調査特別委員会（一庫ダム周辺整備について）

10日 ○文教公企常任委員会
11日 ○厚生経済常任委員会
12日 ○建設常任委員会
16日 ○公営企業会計決算審査特別委員会
17日 ○議会運営委員会
○厚生経済常任委員会
19日 ○第4回市議会定例会（第4日）
22日 ○議会運営委員会
26日 ○第4回市議会定例会（最終日）
○一般会計決算審査特別委員会

○特別会計決算審査特別委員会
○議員協議会（川西市幼稚園教育振興計画について）

10月
1日 ○一般会計決算審査特別委員会
2日 ○一般会計決算審査特別委員会
6日 ○特別会計決算審査特別委員会
10日 ○議会運営委員会
16日 ○議会運営委員会
○広域ごみ処理施設調査特別委員会（広域ごみ処理施設建設の経過について）
22日 ○広報委員会
23日 ○第5回市議会臨時会（招集日）
○議会運営委員会
24日 ○第5回市議会臨時会（最終日）
○議会運営委員会

第5回臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月23日・24日の2日間の会期で開かれ、閉会中に特別委員会で審査していた平成14年度一般会計・特別会計決算について審議し、いずれも決算書のとおり認定しています。また、市議会の役員改選も行いましたが、正副議長をはじめ、各委員会等の新たな構成については、1面下段の表をご参照ください。

一般質問は、本会議第2日目と第3日目の2日間にわたり行われ、12人の議員が、39項目について質問しました。
これらの質問のうち、12項目について、質問と答弁の要旨を掲載しました。
なお、要旨を掲載していない質問項目は、下段の「一般質問項目（掲載分を除く）」をご参照ください。

『住居表示板』整備方針を聞く

議員 住居表示板の設置は市が行っているが、大規模住宅団地は、開発業者の負担で整備されており、メンテナンスも不十分で、市民からわかりにくいという指摘がある。
住居表示板の調査や整備へ向けた取り組みについて伺いたい。
生活・人権部長 住居表示に関しては、町名表示板の有無、退色や老朽

化等について調査するほか、わかりやすい町名表示へ変更することなども検討したい。
また、大規模住宅団地の表示板整備については、多田グリーンハイツなど10団地があることから、必要度の高い所から3年計画で進める検討をしていきたい。



において、粗大ごみの有料化を実施すべきとの答申を受け、また、平成15年度に策定した一般廃棄物処理基本計画においても、粗大ごみの有料化を導入することとしている。
今後、審議会において、その実施時期や費用対効果などについて論議を深めていただくとともに、各市の実施状況も踏まえながら検討していく考えである。

「一庫ダム周辺整備調査特別委員会」の調査終了 広域ごみ処理センター建設に関する特別委員会の名称変更も

今期定例会最終日（9月26日）の本会議において、一庫ダム周辺整備調査特別委員会の委員長から、40年間に及ぶ特別委員会活動の報告を受け、全員一致で調査終了することを議決しました。
また、広域ごみ処理センター建設に関する特別委員会の名称を変更することも議決しました。

一庫公園整備事業やレイクリゾート事業などについて調査・研究を続けてきました。
知明湖周辺における各整備事業もほぼ完了し、ダムに関する特別委員会に課せられた使命が達成されたことから、この度、特別委員会の調査を終了することになったものです。
猪名川水系にダムの建設計画が持ち上がり、その方向付けがされた時期、ダム建設に着手され工事完成に至った時期、ダム完成後において周辺整備に力を入れた時期のそれぞれにおいて、市民の尊い生命と財産・生活などを守る市議会として、地元の皆さんや国、県、水資源開発公団などと多くの時間をかけて話し合い、議論し、その時々により適宜、適切な方向付けをしてきた特別委員会の役割は大きかったと思われます。

■一庫ダム周辺整備調査特別委員会が調査を終了
川西市議会におけるダムに関する特別委員会は、都市化の進展に伴い水の確保が問題となりつつあった昭和39年8月に、ダム建設の是非やその方向付けなどについて調査・研究するため、「猪名川ダム調査研究特別委員会」が設置されたのが最初です。
その後、一庫ダム新築工事が告示された直後の昭和44年3月に、「猪名川ダム対策特別委員会」へと名称を変更し、ダム建設事業はもとより、建設事業に起因する様々な影響などに関し、市民生活を守る立場の議会として、積極的に活動を展開してきました。
さらに、ダムの竣工式を間近にした昭和57年3月に、その名称を「一庫ダム周辺整備調査特別委員会」に変更し、一庫ダム（知明湖）周辺の均衡ある整備を促進するため、県立

■広域ごみ処理センターに関する特別委員会の名称変更
広域ごみ処理施設組合（一市三町）で進めている「広域ごみ処理センター建設事業」に関し、市議会の立場で調査・研究するために特別委員会を設置しておりますが、この度、その名称を「ごみ処理センター周辺調査特別委員会」から、「広域ごみ処理施設調査特別委員会」に変更しました。

環境衛生 ビン・ガラスの“コンテナ回収” 収集体制を見直す考えないか

議員 本市の空き瓶やガラス類の回収は、従来、各自治会ごとに対応されてきたが、現在は、民間業者に委託し、コンテナによる回収を行っている。
コンテナ配送に多額の経費を要していることから、経費節減に向けて回収方法や作業体制を見直す考えはないか。
環境事業部長 コンテナによる回収については、平成14年10月から市内全地域において実施しているが、その試行段階において、自治会からコンテナの維持管理ができないなどの課題が提起されたため、現在の回収方法となった。
今後、コンテナの管理に協力を願えるところについては、その方法を

変更することなども含め、新ごみ処理施設を考慮した収集体制の見直しなどを進めながら、経費節減に向けて努力していきたい。

環境衛生 <ごみの有料化> 検討内容を問う

議員 ごみの有料化については、近隣市でも既に実施されており、それに伴う問題点も見えてきていると思われる。
本市でも、ごみの有料化を実施する方向で、検討が加えられていると思われるが、その検討内容を伺いたい。
環境事業部長 平成14年11月に開催された「廃棄物減量等推進審議会」

教育 「性教育」のあり方 基本的な考え方を示せ

議員 「長崎幼児殺害事件」では、中学1年生である加害者が、幼児を突き落とす前に全裸にして刃物で傷つけており、事件後の調査で、小学校時代に過激な性教育を受けていたという指摘もある。
本市でも、過激と思われる授業もあるが、教育委員会は、性教育の問題点などをどのように把握しているのか伺いたい。
教育振興部長 性教育の大きな問題

点の一つは、性を巡る状況が激しく変化する中で、性教育が本当に子供たちの「生きる力」を育てるものになっているかどうかについて、教職員の共通理解をいかに高めるかといった点にあると考えている。
市教委では、性教育の実施状況を学校から詳しく聞いているが、課題もあると思われるので、もう一度、性教育を行うときの基本的な姿勢について指導していきたい。

教育 小学校の米飯給食 回数増へ向けた検討経過は

議員 本市の小学校では、米飯給食を週1回実施しているが、子供たちや父母の願いからはかけ離れた状況である。
平成13年6月定例会の一般質問において、米飯給食の回数増を求める

質問に対し、「基本的にはドライシステム化の整備と一体的に米飯の回数増を図っていききたい」と答弁されているが、その後の検討経過を伺いたい。
教育振興部長 米飯給食の回数増については、国、県からの要請をはじめ、保護者や児童からの要望もあり、その必要性は十分に認識しているところである。
厳しい財政状況下ではあるものの、週2回の実施に向けて、費用対効果といった面や実現の可能性などについて検討を進めていきたい。



- 受理した陳情
- 市民平和バスに関する要望書
 - 障害者福祉に関する要望＝2件
 - 知的障害者の「居住施設」建設に関する要望書
 - 障害者福祉施策に関する要望
 - 高齢者の高額医療費制度の改善を求める陳情書

- 一般質問項目（掲載分を除く）
- 「新行財政改革」を改める提案について
 - 「スリランカ共和国」との友好都市づくりについて
 - 改正地方自治法による「自治体の管理する公共施設の管理運営について」（民間業者への開放について）
 - 職員の定期代を6カ月単位に見直す考えや、その場合の節減効果について
 - 行財政改革行動計画について
 - 本市における保育体制の整備について
 - 乳幼児医療費の無料化について
 - 留守家庭児童育成クラブや保育所等における警報発令時の対応について
 - 人工透析をされている方の交通手段について
 - 川西市環境保全審議会について
 - 一般ごみ収集における作業実態について
 - 生ごみ収集における直轄からみた委託業者の適正化について
 - ごみ減量化の進捗状況について
 - すぐにも実施できるごみの再資源化について

- 広域ごみ処理基本計画と市の基本計画との関連性について
- 高齢者・障害者宅の戸別収集について
- 仕事づくりとして、住宅リフォーム助成制度を創設する考えについて
- 公共下水道未整備地域の整備計画について
- 能勢電鉄上平野踏切の改善について
- 河川改修後の堤防敷の活用について
- 小・中学校の管理職登用人事について
- 道徳・人権の副読本について
- 教職員の勤務評定について
- 中学校給食について
- 学校図書館の充実について
- 青少年の居場所づくりに向け、総合センターや公民館の土日・夜間の利用を行う考え及び子供たちの企画運営への参画について
- 市立川西病院における市外入院患者への割増料金の解消について

- 一般質問発言議員（発言順）
- | | |
|----|-----|
| 住田 | 由之輔 |
| 倉谷 | 八千子 |
| 松田 | 恭男 |
| 北上 | 哲仁 |
| 宮路 | 尊士 |
| 角谷 | 悠子 |
| 安田 | 忠司 |
| 黒田 | 美智 |
| 向井 | 陽子 |
| 岩田 | 秀雄 |
| 土谷 | 一郎 |
| 大谷 | 真智子 |

常任委員会報告

今期定例会の常任委員会で審査された議案は、総務委員会2件、厚生経済委員会3件、建設委員会1件、文教公企委員会を含めた四つの委員会に分割付託された補正予算案1件の計7件です。
ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

消防救助工作車の買い入れを審議 一般会計（歳入）補正も 総務常任委員会



救助工作車・Ⅲ型

■救助工作車・Ⅲ型の買い入れについて
本案は、北消防署清和台出張所に配備している救助工作車Ⅱ型の老朽化が著しいことから、Ⅲ型に買い換えようとするものである。

問 今回、救助工作車をⅡ型からⅢ型へ買い換えようとする考え方について伺いたい。

答 本市は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国で発足した広域的な応援体制である「緊急消防援助隊」に登録している。

そうしたことから、国の基準に基づき、大規模災害救助活動にも対応できるⅢ型に買い換えようとするものである。

■平成15年度川西市一般会計補正予算（第3回）〈分割付託〉

問 今回、中央北地区整備事業の財源とするため、公共施設等整備基金から1億1100万円を取り崩

一般会計（教育費）を追加補正 青少年健全育成事業の補助金など 文教公企常任委員会

■平成15年度川西市一般会計補正予算（第3回）〈分割付託〉

問 県の青少年非行防止サポート事業のモデル指定を受けて、清和台中学校区と多田中学校区の青少年育成市民会議が実施する「青少年健全育成事業」の補助金20万円が追加されようとしているが、具体的な事業内容を伺いたい。

そうとしているが、基金の状況を伺いたい。

答 本市では、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金を取り崩しが可能な主要3基金としている。

これら三つの基金残高は、今回の補正後で約45億1782万7000円となり、現段階におい

ては、長期財政収支計画に掲げた数字より若干、残高が多い状況である。

◇ ◇ ◇

修正意見 中央北地区整備事業については、事業見直しを含め、十分な検討が必要であり、公共施設等整備基金積立金繰入金の全額を削除すべきである。

反対意見 子どもの人権オンブズパーソン事業を継続するための補正追加については賛成するものの、中央北地区整備事業に充てる経費を減額する修正案を提出したことから、原案に反対する。

賛成意見 中央北地区における「まちづくりビジョン」策定等の経費に充てるため、公共施設等整備基金積立金からの繰り入れは必要であると考ええる。また、子どもの人権オンブズパーソン事業は存続させるべきであり、修正案に反対し、原案に賛成する。

答 この事業は、大人だけでなく、小・中学生等も参加して、青少年非行問題に取り組むことにより、地域における活動の活性化を図ろうとするものである。

具体的には、親子で学ぶ非行防止研究会や非行防止グッズ作成教室のほか、三世代交流の自然観察会などの活動が計画されているところである。

市営葬儀条例の廃止で論議 “子どもの人権オンブズパーソン事業”経費の補正も 厚生経済常任委員会

■川西市営葬儀条例を廃止する条例の制定について

本案は、本年、第1回定例市議会において、市営葬儀に関連する経費が減額修正されたことを受け、その後、慎重に検討した結果、市営葬儀を廃止しようとするものである。

問 市営葬儀廃止後における市民への対応方針について伺いたい。

答 今日、民間事業者においても、市営葬儀で行ってきた低廉で簡素な葬儀が可能であることなどから、今回、廃止しようとするものである。

今後は、問い合わせ等に対し、十分相談に応じながら、民間事業者を紹介するなどの対応に努めたい。

◇ ◇ ◇

反対意見 廉価な葬儀場所や葬祭料の減免等、具体的な代替措置が示されておらず、本案には賛成できない。

■平成15年度川西市一般会計補正予算（第3回）〈分割付託〉

問 第1回定例市議会において、減額修正された「子どもの人権オンブズパーソン事業」の経費に相当する額が追加されようとしているが、事業を継続実施しようとする考え方などについて伺いたい。

手数料条例の一部改正を可決 「中央北地区整備事業」関連経費の補正も 建設常任委員会

■川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、印刷したフィルムを路線バスの車体に張り付ける「ラッピング方式」による広告物の許可に係る手数料を新たに設けようとするものである。

問 車体利用広告物の許可に係る手数料の収納状況を伺いたい。

答 現在、本市の路線バスには、ラッピング方式による広告物のあるものは登録されていないが、平成14



答 同事業については、子供を取り巻く生活環境が厳しさを増す中で、今後とも必要な事業であると判断したところである。

今後は、学校現場等の調査を実施するに際し、調査開始時に十分な協議を行うほか、教育委員会も一体となって調査に当たるなど、改善を図っていく考えである。

付 帯 決 議《要旨》

当委員会は、子どもの人権オンブズパーソン制度がより効果的な制度となることを願いながら、以下の事項について、ここに強く要望する。

- 市長は、オンブズパーソンと市の機関の責任領域について再度、整理されたい。
- 市長は、オンブズパーソンの選任について、より広範に人材を求められたい。
- 教育委員会は、学校等への指導・支援を積極的に行うなど、教育委員会の主体性を発揮するとともに、その責任を明確にされたい。
- オンブズパーソンは、教育委員会の自主性・指導性を尊重し、教育現場における子どもに関わる案件に関しては、より慎重に対応されたい。
- オンブズパーソンは、その職務を遂行するに際し、子どもの福祉、教育、人権等に関わる機関等との連携をさらに密にされたい。
- オンブズパーソン事務局は、オンブズパーソンの職務が効果的に遂行されるよう、適宜・適切に補佐されたい。

年度の車体利用広告物に係る手数料収納状況は、1万6500円となっている。

■平成15年度川西市一般会計補正予算（第3回）〈分割付託〉

問 今回、中央北地区整備事業において、皮革工場等の除却を前提とした物件調査費が追加されようとしているが、補償内容等について伺いたい。

答 今回、工場（46力所）の建物、機械設備、動産、営業等について、公共の基準に基づき調査し、平成16年度に、補償を行いたいと考えている。

◇ ◇ ◇

修正意見 事業者や市民の意見を十分に聞いたうえで、事業を進めるべきであり、中央北地区整備事業に係る補正額を削除すべきである。

反対意見 まちづくりは、広く市民の声を聞くべきであり、修正案に賛成し、原案に反対する。

賛成意見 火打前処理場の廃止を前提とした補正予算であることから、修正案に反対し、原案に賛成する。

■ 審 議 案 件 ■

- 全員賛成■
〈条例の一部改正〉
- 川西市手数料条例（建設）
〈補正予算〉
- 平成15年度川西市国民健康保険事業特別会計第2回補正（厚生経済）
- 平成15年度川西市介護保険事業特別会計第1回補正（同）
- 〈その他〉
- 専決報告 平成15年度川西市一般会計第2回補正
- 教育委員会委員の選任
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 市功労者表彰＝3件
- 救助工作車・Ⅲ型の買い入れ（総務）
- 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車・1－A型の買い入れ（同）
- ごみ処理センター周辺調査特別委員会の名称及び調査事項の変更

- 一庫ダム周辺整備調査特別委員会の調査終了
- 賛成多数■
〈条例の制定〉
- 川西市営葬儀条例を廃止する条例（厚生経済）
〈補正予算〉
- 平成15年度川西市一般会計第3回補正（各委分割付託）
〈決 算〉
- 平成14年度川西市水道事業会計決算認定（公企会計決算特別委）
- 平成14年度川西市病院事業会計決算認定（同）
- 賛成少数■
〈補正予算〉
- 平成15年度川西市一般会計第3回補正修正案（総務・建設）
■継続審査■
〈決 算〉
- 平成14年度川西市一般会計決算認定（一般会計決算特別委）
- 平成14年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定（特別会計決算特別委）

- 平成14年度川西市老人保健事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市農業共済事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市交通災害共済事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市下水道事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市駐車場事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市住宅街区整備用地先行取得事業特別会計決算認定（同）
- 平成14年度川西市介護保険事業特別会計決算認定（同）
- 【請 願】
■採 択■
- 「教育基本法」改定について慎重審議を求める意見書提出に関する請願（文教公企）
【市長からの報告】
- 平成14年度川西市一般会計予算継続費精算報告

【注】（ ）は付託された委員会です。

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議はもとより、議会運営委員会をはじめ、常任・特別委員会など、すべての会議を公開しています。これらの会議では、皆さんの日常生活に関わりの深い重要な事柄が審議・審査されています。市の方針や議会活動を知るよい機会ともなりますので、ぜひ傍聴にお越しくください。なお、次の12月定例会は、11月末頃から開かれる予定です。これらの会議の開催日程等については、市議会事務局（TEL：740－1255）にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ（http://www.city.kawanishi.hyogo.jp）をご覧ください。

市議会新広報委員

10月の議会役員の選出に伴い、市議会広報委員会のメンバーが新たに決まりました。今後とも、よろしくお願いいたします。

委員長 倉谷八千子
副委員長 多久和桂子
委 員 村上 祐章
黒田 美智
土谷 一郎
中札思無哉
角谷 悠子
岩田 秀雄
土田 忠
安田 末廣